

旭中央病院・宮本さんを職場に戻し

2013年9月30日 第11号
千葉県医労連・千葉医福労
発行責任者：永島 達哉



地域医療を再生させる会 ニュース

過去最高の参加者でビラ1000枚配布

地域「復帰させる会」からも4名参加



2013.09.13 11:35

患者さんと対話する宣伝隊（中央は宮本さん）



病院の代表である吉田象二事業管理者は、市立病院の代表者という立場をわきまえて、地域住民や患者さん、職員の声に真摯に声を傾けるべきです。「宮本さんを職場に戻し、市民病院としての本分を果たせ！」これは住民の声です。

9月13日（金）11時より、「宮本さんの解雇を撤回させる会」と地域の「真実を解明し、宮本さんを職場に復帰させる会」が共同で、旭中央病院での宣伝行動に取り組みました。千葉労連2名、三三2名、千葉地区労1名、争議団2名、千葉土建1名、建交労1名、医労連5名、そして地域からは4名の参加をいただき、宮本さんを含めて過去最高の総勢19名でのビラ配布となり、13時台早々に1000枚のビラを患者さんや御家族に撒き切っていました。

積極的の反応多数寄せられる

「銚子で撒くからビラ欲しい」「病棟に貼っておくよ」「宣伝カーも使ってやれ」

宣伝隊に対する反応が、格段に良くなってきており、「何があったのか」と訊ねる人、「頑張っていると激励する人が後を絶ちません。同時に、積極的な反応が増えていることも大きな特徴です。

「地元の銚子で撒きたいから、ビラがまとまって欲しい」「頑張れよ。病棟に貼っておくよ（入院患者さん）」「宣伝カーも使ってもっと宣伝しろ」「力になりたいけど、自分たちは何をしたらいい？署名でもないのか？」等、積極的な協力依頼が相次いでいます。

「病院で解雇は良くない」という声に代表されるように、職員が一方的に解雇されてしまうような職場では、まともな医療や介護は提供されないと危惧するのは当たり前の感覚です。

旭中央病院もブラックだな

宣伝隊には、患者さんや御家族からの病院に対する不満も多く寄せられています。

「不払い賃金だとか不当解雇だとか、旭中央病院も相当にブラックだな」「こういふの（ビラ）を出してもらわないと、病院の中心が一切わからない」「労働組合が必要だね」「諸橋院長の頃は良かったが、吉田院長になってから体質が変わった」「吉田（事業管理者）を知っているが、あいつは権力欲ばかり」「職員は良くしてくれるが、主治医がコロコロ変わるのには困る」等、吉田象二病院長

少し目を離れた際に、旗竿が折られるという事件が発生！会の旗を立てていた旗竿が、何者かに折られました。

露骨な妨害が発生するということは、私たちの宣伝や活動が、多くの患者さんや御家族、住民に浸透していることの現れでもあります。まさに、たたかいは鏢迫り合いの段階にきています。攻めて攻めて攻め抜きましょう！



目を離れた際に折られた旗竿

11月には千葉県争議支援総行動 100名規模で吉田象二を包囲

11月には、千葉県争議総行動が行われ、千葉県内の争議職場での宣伝行動を展開します。ここでは、旭中央病院も対象として設定され、100名規模で宮本さんの首を切った張本人である吉田象二事業管理者を包囲し、宮本さんを職場に戻すことと、旭中央病院の民主化の決着をはかります。

市民病院を権力を握って私物化し、病院内のことは徹底して隠蔽し、意にそぐわないものは排除し、病院運営を牛耳り、歪めている吉田象二事業管理者を県内の労働者、患者さん、地域住民と包囲し病院を取り戻します。



遠藤・県医労連新委員長もビラまき